

決済動向

— 平成8年10月 —

(平成8年12月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

10月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比+1.1%）、金額ベースでは316.9兆円（同△2.5%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は297.6兆円（前年比△1.9%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は13.5兆円（同△12.3%）となった。

10月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで7.9万件（前年比+42.8%）、金額ベースで223.0兆円（同+44.0%）となった。また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.7万件（前年比+6.7%）、金額ベースで227.5兆円（同△0.3%）となった。

10月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで129.3万件（前年比△0.4%）、金額ベースで5.5兆円（同△11.4%）となった。

10月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.4兆円（前年比+6.0%）、支払高7.4兆円（同+0.1%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、10月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは40.2万枚（前年比△14.8%）、金額ベースでは4.8兆円（同△15.5%）となった。

10月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは384.1万件（前年比△0.8%）、金額ベースでは8.2兆円（同△3.5%）となった。

10月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.8万件（前年比+2.5%）、金額ベースでは34.5兆円（同+4.2%）となった。

3. その他

10月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は8.9万契約（前年比△6.3%）、月末の建玉数量は162.3万契約（同+26.2%）となった。

(信用機構局)